

平成 27 年 9 月 16 日  
セーフティドライビングフェスタ実行委員会  
実行委員長 福永 修



## ごあいさつ

セーフティドライビングフェスタは、自他の生命尊重という理念の下に、交通社会の一員としての責任を自覚し、交通安全意識と交通マナーの向上に努め、相手の立場を尊重し、他の人々や地域の安全にも貢献できる良き社会人を育成する上で、重要な意義を持ちます。平成 20 年に第 1 回を開催し、今年で第 10 回目のセーフティドライビングフェスタですが平成 27 年 10 月 12 日の体育の日に開催します。

このイベントの一番の趣旨は障がいをお持ちの方が世に出て行く気力も方法も解からない方に自動車と言うツールを使って社会参加するきっかけづくりで開催しております。

障がい者も健常者も分け隔てなく共存共栄するにはお互いにどちらの事も理解する必要があります。それになかなか普段の生活の中でお互いの事を知る機会がありません。

日本はスロープやエレベーターなどハードな部分は日々整備され、障がいをお持ちの方でも出歩きやすい環境にはなってきたと思います。しかしハードな部分が整備されればされるほどソフトな部分への気配りをする事が出来る人が少なく、一言が掛けられない人が多いのでは無いかと思います。この日本人の『恥ずかしい』と思う、ソフトな部分を引き出すきっかけにして、色々な障がいをお持ちの方とセーフティドライビングフェスタを通じて色々な人と共感して下さい！

キャッチフレーズは自動車と言うツールを使って障がい者も健常者も関係なくみんなで楽しく！とにかく走る意味で『Let' S Together 一緒に走ろうや！』です。

最後になりましたが、このイベントで分かって欲しい事は障がい者から健常者、老若男女問わず誰もが思いやりのもてる人になって貰う為に自動車と言うツールが皆さんの架け橋になれば良いと思っております。